

(概要版)

# まとまりのある英文で 自分の意見や考えを書く能力の育成

— 中学校でイメージマップと学習支援シートの活用を通して —

長期研修Ⅱ研修員 細谷 裕之

現学習指導要領から新学習指導要領への主な改善事項として…「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文とのつながりなどに注意して文章を書くこと」と明記される

英語科の課題として 「書くこと」の現状は…

全国（H19 中教審のまとめから）

- ◆ 語彙や文構造を十分に活用できていない
- ◆ 内容的に一貫した文章が書けていない

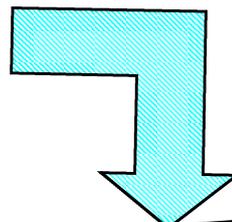


群馬県（H18 学力診断テストの結果から）

- ◆ 「書いて表現する能力」の正答率が低い
- ◆ 自分の考えや気持ちをまとまりのある文章にできていない

協力校（H20 CRT学力検査の結果から）

- ◆ 「書くこと」の得点率が6割にとどまる（「聞くこと」「話すこと」は8割、「読むこと」は7割）
- ◆ 伝えたい内容を考え、正しく書くという項目の到達度が低い



4領域の中で「書くこと」の到達度が低いという実態

※4領域とは「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」

「書くこと」についての生徒の実態

- ・ 伝えたい意見や考えが少ない
- ・ まとまりのある文の文章構成を知らない
- ・ 既習の英語表現を十分に活用できていない
- ・ 相手に伝える文になっていない

原因は？



- 生徒に書かせる前に考える時間を十分に与えていなかった
- 英語の文章構成の提示が十分ではなかった
- 英語に直す前段階で日本語を吟味させていなかった
- 書いたことを相手に伝えるという視点を意識させなかった

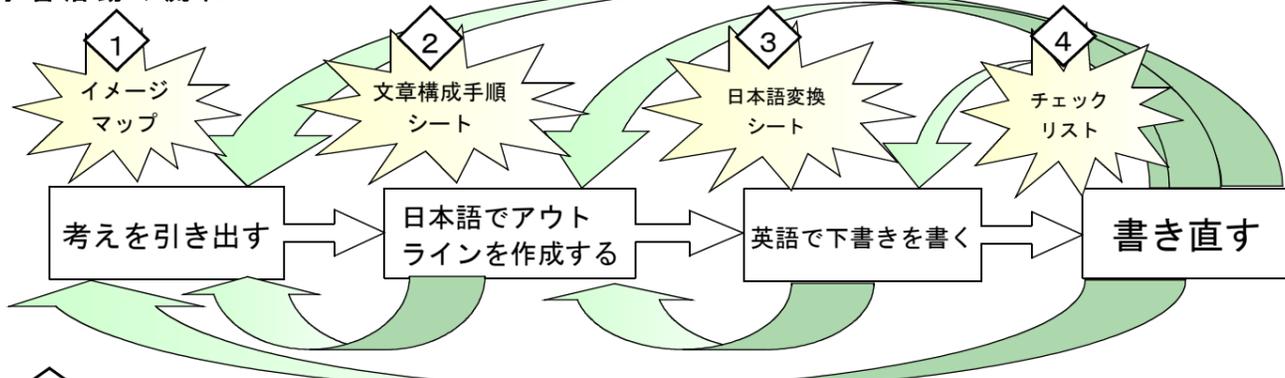
そこで

- ◎ イメージマップで書こうとするテーマについて考えを引き出す
- ◎ 学習支援シートを作成して、段階的に書く力を高める

指導の工夫を研究しました！

# まとまりのある英文で意見文を作成する4つの手立て

## 学習活動の流れ



### 1 考えを引き出す段階

- イメージマップ活動を行う。  
・自分が選んだ意見(好きな季節)に対する理由を付箋紙に書き出す。
- 考えを分類・整理する。  
・分類・整理した考えを3つ選び、グループで理由を表す文を日本語で3つ作る。

### イメージマップ活動の導入

Which season do you like the best?  
「あなたはどの季節が一番好きですか」

夏を選んだグループ

理由を表す文を書き出してください。

- 夏は様々な行事があるからです(祭、大会、夏休み)
- 夏はおいしい食べ物があるからです(すいか、アイス、焼きそば)
- 夏は色々な所に行けるからです(山、川、海)

春を選んだグループ

理由を表す文を書き出してください。

- いろいろな植物が芽がく季節だから(桜が好きだから)
- すこしやさしい、あたたかな気候だから
- 生き物がたくさん起きはじめるから(あてから)、活動を始めるから

◎他の生徒の多様な考えを知り、思考を広げることができました！

### 2 日本語でアウトラインを作成する段階

- 英語の意見文の文章構成を理解する。  
・**主題文**・**支持文**・**結論文**から成る三段構成に気付く。
- 各自がテーマを決め、最初に主題文を英語で書く。  
・与えられた4つのテーマから1つを選んで書く。
- 結論文を英語で書く。  
・つなぎ言葉を使い、主題文を繰り返して書く
- 支持文を日本語で書く。  
・イメージマップ活動を再び行いながら、自分の考えを書く。

### 文章構成手順シートの活用

Sentence Procedure  
意見文を書く手順1→2→3

- 最初に主題文を書く  
A 自分の考えを言う  
Which is better, Q or P?  
I think (that) 主語 + 動詞「私は～だと思ふ」  
I believe (that) 「私は～だと信じる」  
I'm sure (that) 「きっと～だと思ふ」  
B 賛成か反対かを言う  
Do you agree with this opinion?  
「この意見に賛成ですか」と聞かれた時  
賛成なら I agree with this opinion.  
反対なら I disagree with this opinion.
- 次に理由や根拠を表す文を書く  
3つ理由を挙げよう  
書き出しの言葉は...  
参考: 表現例  
・First...「最初に、第一に」  
・Second...「次に、第二に」  
・Third...「最後に、第三に」  
・There is (are) / We have  
・For example...「たとえば」  
・I (We) should...「～すべきだ」  
・I (We) should...「～すべきだ」
- 最後に結論文を書く  
書き出しの言葉は...  
最終の主題文を繰り返して書く  
・That's why 主語 + 動詞 「だから」  
・So 「それなので」  
・Therefore 「したがって」

◎三段構成から成る意見文の型を示してまとまりのある英文の構成が理解できるようなシートを作成しました！

### 提示した4つのテーマ

- 中学生にとって昼食は弁当と給食、どちらがよいか。
- 「小学生は携帯電話を持ってよい」この意見に賛成か反対か？
- 映画を見るなら家と映画館、どちらがよいか。
- 「若者は都会に住んだほうがよい」この意見に賛成か反対か？

### 生徒が書いた日本語の支持文の例

1 17日は最新の映画が見ることが出来ます。すると友達同士の会話のネタになります。

2 27日はとても、はくかのあの映像が見れます。家では感じることができません。

3 37日は、ポップコーンを食べながら見ることが出来ます。とても、おいしいです。

### 4 書き直す段階

- 自分の意見や考えが正しく伝わるかどうかをお互いにチェックする。  
・ワークシートを交換し、お互いに原稿を読み合い改善点を見つける。
- 自分の書いた英文を書き直す。  
・友達が指摘した改善点を基にする。

◎文章構成、文法、内容の3項目に分け、書いた英文を読み手の視点で書き直せるようシートを作成しました！

(主題文)  
I think that watching them in a movie house is better.  
(理由や根拠を表す文)  
There are three reasons.  
First...there is powerful.  
Second...we can eat many snacks.  
Third...we can buy the goods.  
(結論文)  
So I think that watching them in a movie house is better.

### 英文チェックリストの活用

Check List	
文章構成面	主題文が書いているか
	理由や根拠を表す文は3文あるか
	理由や根拠を表す文はそれぞれつなぎ言葉 (First, Second, Third) を使っているか 理由や根拠を表す文は同じ動詞を多用していないか (文が単語になっていないか) (例: 3つの文にすべて like が使っているなど)
文法面	結論文はあるか
	結論文はつなぎ言葉 (So など) を使っているか それぞれの文に主語はあるか。使っていないとしたらどこか。
	代名詞を的確に使い同じ名詞を多用していないか 単語は正しいつづりになっているか。間違っていたら直してあげよう。(例: 2行目 lunch → lunch)
内容面	動詞の形は適切か。間違っていたら直してあげよう。 (例: 2行目 go → went)
	1つめの理由を読んでもしっかり知りたいたいこと何ですか。書き手がもう一文付け加えられるように記入しよう
	2つめの理由を読んでもしっかり知りたいたいこと何ですか。書き手がもう一文付け加えられるように記入しよう

下線が具体化された支持文

I think that watching them in a movie house is better.  
There are three reasons.  
First, the movie house is powerful, because there is big sound and a big screen. Second, we can eat many snacks. I like popcorn. Third, we can buy the goods to remember the movie.  
So I think that watching them in a movie house is better.

### 3 英語で下書きを書く段階

- 支持文を「英語に直しやすい日本語にする」という視点で書き直す。  
・日本語変換シートを参考にする。  
・書き直した日本語の支持文を教師に見せる。
- 書き直した日本語の支持文を英語に直して書く。  
・表現シートや単語シートを活用し、英語で書く。

### 日本語変換シートの活用

君の書いた日本語を英語に変えるために  
—日本語変換シート—

今までに習った表現を使って英語を書くために、君の書いた日本語をやさしく変換してみよう。自分の選んだテーマの表現を見て、参考にしよう。

テーマ!

「～の手間がかかる」「～しなくて済む」	～する必要がない、しなくてよい
「～にすると～しか～しなくなる」	～しか～しない
「～にいいものがある」	～にいい
「給食は安い」「コスト」	給食を安く食べられる、値段
「～が作るのに～によい」	～がメニューを考える。だから～
「親の役に立てる」	親を心配させない
「温かいまま」	温かく
「～で協力して配る」	～で給食を準備する
「協力の大切さが身につく」	みんなと楽しい時間を過ごす
「～の時間が増える」	「
「好きな量を食べられる」	おかわりできる
「中学生の時期は」	私たちは
「配る」「おかず」	給食を準備する、食べ物
「安心して」	心配しない
「好きなもの」	好きな食べ物、いろいろな種類の食物
「好きなもの」	もし食べなければ～する必要はない
「自分の要望をかなえる」	自分は何を食べたいのか考える
「愛情がこもっている」	(親は)一生懸命～を作る
「母の料理がうまい」	母の給食(母が作った給食)を食べたい
「ピクニックや遠足気分」	ピクニックのように

1 17日は、新しい映画を見ることが出来ます。その映画について友達と話せます。

2 27日は、迫力の映画シーンが見れます。家では感じることができません。

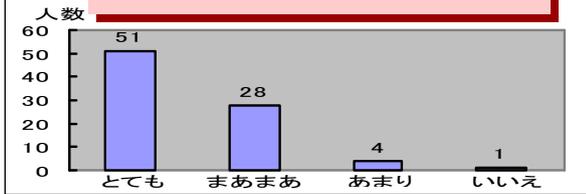
3 37日は、そこでポップコーンを食べるのが好きです。それはとてもおいしいです。

※下線は顕著な変容

◎既習の英語表現が使えるよう日本語自体を吟味させるようシートを作成しました！

## 振り返りシートから

### イメージマップは役に立ちましたか



☆94%の生徒が「とても」または「まあまあ」役に立ったと答えている。

### 日本語変換シートは役に立ちましたか



☆95%の生徒が「はい」または「少し」役に立ったと答えている。

## 生徒の感想から

《文章構成シート》・意見を述べる順序が分かった。

- ・主題と結論では同じことを書くことが分かった。
- ・理由を書く時の文のつなぎ方や書き方が分かった。
- ・すぐに書け、と言われても混乱して書けないけど今回のように書き方を教えてもらって書きやすい。

☆まとまりのある英文の構成を理解することにつながった様子が伺える。

《英文チェックリスト》・みんなから「おかしい」と思うところを教えてもらって、自分の苦手なところが分かった。

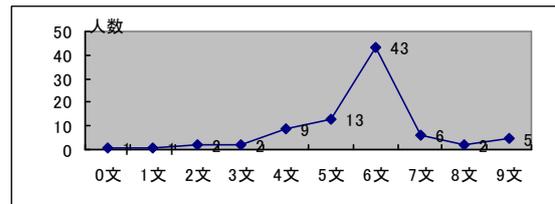
- ・友達同士でチェックし合っているとけっこう間違いが見つかった。
- ・いろいろな考えが聞けておもしろかった。
- ・友達の文をチェックするのは難しかった。どこが間違っているのか見つけるのが大変だった。

☆チェックリストを基に行った学び合い活動を前向きとらえている様子が伺える。

## 《成果》

- イメージマップは、自分の考えを引き出し、分類・整理することで思考を広げ、支持文の内容を深めることにつながった。最初は「書くことがない」と言っていた生徒も、最後は多くの意見を出していた。イメージマップ活動は、英語の学力に関わらずほぼ全員の生徒が意欲的に取り組めた。
- 生徒は、学習支援シートを基に英語の意見文の構成について理解し、既習の英語を使って表現できるようになり、書いた英語をより良い文へと書き直すことができた。本研究において、文章構成の1つの型を示したことで生徒の書く能力を向上させることができた。
- 授業実践の約1ヶ月後に新たなテーマ文を提示し意見文を書かせたところ、書いた文の数は下の図のような結果になった。

事後調査の問題：次の質問に対して、理由を含めてあなたの考えを英語で書いてください。文はいくつ書いてもかまいません  
Which is better, sea or mountain?  
(あなたが旅行するなら)海と山どちらがいいですか



82%の生徒が文章構成を理解して5文以上書くことができていた。内容面においても自分の主張を裏付ける理由や根拠を具体的に記述できた生徒が多かった。本研究の成果としてまとまりのある英文を書く力が身に付いたと考えられる。

## 《課題》

- チェックリストを用いた学び合いでは、英語の学力が高い生徒とそうではない生徒とでは、指摘できる内容に差が出てしまう。すべての生徒が同様に、書いた英文について改善点を指摘できるようにリストを改良していくことが課題である。
- 平成24年度より新学習指導要領によって英語の時数が各学年で週1時間増加する。言語材料は今までと同じであるため、今までより4領域を統合した言語活動を多く行うことができる。英語を聞くこと話すことの言語活動に加え、今回取り上げた意見文以外にも「書いて」表現する力を高める活動を授業に取り入れていく必要がある。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター

担当係：高校教育研究係 0270-26-9214 (直通)